



あすか No.25

川崎市宮前区 青少年指導員会 宮前地区広報誌

2017年9月30日 発行 第25号
発行者:宮前地区青少年指導員会
会長 岸 真介
事務局:宮前区役所地域振興課内
TEL.044-856-3135



宮前区長 小田嶋 満

川崎区で生まれ、育ちました。高度成長期で環境面での課題は大きかったものの、街には労働者の活気があふれ、自分達も将来に対して明るい希望が持てる時代でした。大師小学校で出会った大変魅力的な先生の影響で、はっきりと教員を目指すことにしたのは浪人時代のことです。中学校の国語科教員として、22年間中学生の指導に当たってきました。

印象的な思い出はたくさんありますが、より印象的に覚えているのは、学校での集団生活に課題のあった生徒との様々な関わりです。若さだけで体当たりの指導しかできなかった未熟な期間を経て、次第に経験を積む中で、問題行動の背景にある生徒の悩みや苦しみを共感的に理解できるようになりました。そして、自分自身の子育ての経験や、子育て中の悩みなども通して、保護者の思いや辛さなどにも、真に寄り添うことができるようになったのは、40歳を過ぎた頃でした。

振り返ってみれば、自分を成長させてくれたのは、(自分の子どもも含めて)課題を抱えている子ども達の様々な反抗的態度や、苦しい心の叫びだったように思います。

そんな経験も活かしながら、宮前区の子どもの健全育成に向けて、区長として力を注ぎたいと思います。青少年指導委員会の皆様方には、温かい見守りや様々な体験・交流活動を通して、子ども達にとって、大変意義ある貴重な体験の場を与えていただくとともに、安全・安心な環境作りにも大きく貢献していただいております。日頃の皆様方の活動に、敬意と感謝を表すとともに、今後も川崎の宝である子ども達の健やかな成長のために、ご活躍いただくことをご期待申し上げます。



宮前地区青少年指導員会 会長 岸 真介

青少年指導員活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。
また、日頃より子ども達の健全な育成と安全・安心の確保にご尽力頂いていることお礼申し上げます。

先般、福島県南相馬市の行政職員の方と話す機会がありました。その際「関東の方は青少年にかかわる事件が多くて、川崎の青少年指導員さんも大変ですね」と言われました。確かに2015年2月中1男子生徒殺害事件(川崎市)、2016年7月障害者施設殺傷事件(相模原市)、2017年3月小3女児殺傷事件(松戸市)と立て続きに起こり、私たちに多大な衝撃を与えました。特に小3女児殺傷事件の後は、パトロール用のビブスを着用すると、事件を連想させ、警戒心を子どもや保護者に抱かせてしまわないか不安に思う時もあり、一時無力感も感じました。しかし、今後も地道な活動(パトロール活動、あいさつ運動、登下校時の見守り等)や交流活動(作品展、ディスカバーみやまえ等)を続けることで、子ども達の安全・安心環境の確保ができると信じています。こうした努力を重ね続ける事で、子ども達との強固な信頼関係を培っていきたいと思っています。

青少年指導員合同研修会

日時:平成29年6月25日(日)

場所:区役所 4階 大会議室 内容:視聴覚研修



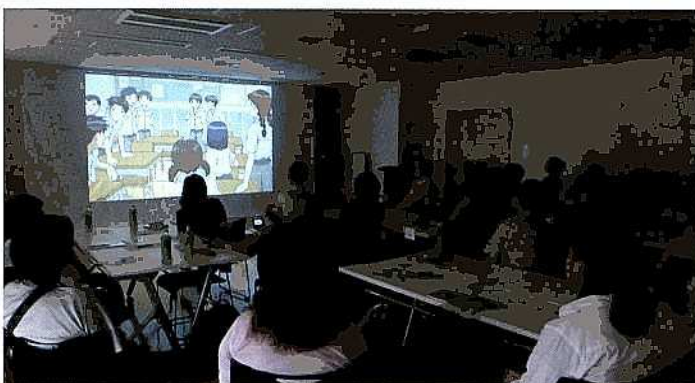
アニメ内容

いじめやそれに伴う不登校問題などをテーマにした青木和雄の小説『ハードル 真実と勇気の間で』を長編アニメ化。神奈川県各団体が後援している。中学受験を控えた小学六年生の少年・有沢麗音(れおん)と浜田博。ある時、麗音は博の万引きを知ってしまう。受験のストレスゆえと理解した麗音は博をかばうが、やがて万引きの一件が学校に知れ渡るや、博は麗音が犯人だと密告する。教師たちは無実を訴える麗音の言葉に耳を傾けようとしなかったが、それでも幾人かの友人と文房具店の老婆の優しさに救われるのだった。そんな麗音はやがて中学に進学してバスケット部に入るが……。

長編アニメーション映画『ハードル』を鑑賞しグループディスカッションをしました。

《グループワークの声紹介》

- 問題が小さいうちに対処する事が大事であるがネット社会でのいじめが酷くかつ発見しにくい状況を何とかしなければいけないと思う。
- 現在の学校における先生の状況、指導のしかたが問題ではとの声もあった、また、大人も子どもも、物事を一方的に決めつけるのではなく、広い視野をもち、情報を集め、ひとつひとつ考え直していくことで、お互いに理解しあえるようになるのではないだろうか。
- いつの時代にもある問題であるが、大人が本音で子どもたちに向き合う大切さを学んだ。
- ◆今回の研修会では、これから接する子どもたちが『自分を信じ、心のハードルを飛びこえる勇気』を持てるように育ててほしいという大人達の熱いメッセージを発信し続けていきたいと思いました。



宮前地区巡回映画会

本年度の上映作品は「はらぺこあおむし」「森のなかまたち」「月とあざらし」等を上映しました。



◆防犯講話

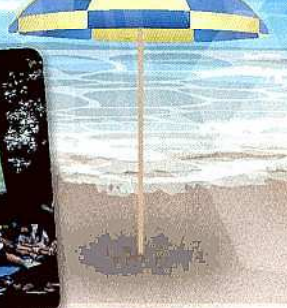
本年の巡回映画会は4地区10会場で実施されました。

総勢1,964名の来場者数となり、どの会場も大賑わいで、夏休みの楽しい思い出となりました。

ただ、7月29日(土)、西野川小学校の会場では、当日夕方に大雨洪水警報も発令され、残念ながら映画会は中止となりました。そんな悪天候の中、30~40人くらいの方が会場まで足を運んで下さり大変に申し訳なく思っております。

ありがとうございました。感謝申し上げます。

また、7月23日(日)鷺沼小学校の会場では、来場者数100名を集める中、宮前防犯連絡協議会・谷正光会長、宮前警察署生活安全課・小川智子巡查長より、「夏休みにおける防犯・交通安全」について講演を頂きました。子どもたちを交えたワークショップとなり、防犯に対する意識も高まったことと思えます。



みやまえ太鼓ミーティング

8月26日(土)に宮前市民館で開催され、22名の青少年指導員が運営に協力しました。

宮前に集え!太鼓でエールをつなごう
 今年で19回を迎える、和太鼓のお祭り「響け!みやまえ太鼓ミーティング」
 と和太鼓の演奏はもちろん、地域の民俗芸能の披露、地元中学校が作る「お太鼓」や
 提灯の披露、地元保育園の園児たちによる踊りなど、盛りだくさんのプログラム!
 今年のゲストには、友野龍士、宮迫毅、石田潔二郎、kakuei(OAU)、小島徳秋が登場!
 さらに、浴衣の着付け体験や和太鼓の演奏体験など、参加型コーナーでも盛りだくさん!

第一部 13:50~
 (13時30分開場)
 宮前市民館大ホール
 特別出演 藤子健司
 来賓 和太鼓 友野龍士
 中野智也
 特別出演 友野龍士
 特別出演 kakuei(OAU)
 特別出演 小島徳秋
 特別出演 友野龍士

第二部 18:00~
 市民広場
 来賓 和太鼓 友野龍士
 特別出演 藤子健司
 特別出演 友野龍士

宮前市民館 市民館は宮前市の中心にあり、市民の生活に身近な施設です。
 〒416-2006 宮前市宮前1-1-1
 TEL:044-856-2125



これであなたも芸術家!

日時:平成29年9月3日(日)9時～

場所:宮前区役所 4階大会議室



夏休みが終わり毎年恒例となった絵画教室が行われました。

96人の絵を描くことが大好きな子ども達が参加し、それぞれ大胆に

繊細に自分の作品を描いていました。会場にて、画用紙を前に書く絵を考えている子どもや、事前に描く絵を決めてきている子どもなど様々ですが、楽しい一日だったと思います。

作品制作の指導に藤井和也先生(宮崎台小)と加藤

亜莉沙先生(宮崎台小)また美大生の吉崎徳望さんに参加して頂き、絵を描くための色々なアドバイスに子ども達も真剣に耳を傾けていました。

また今年の作品展に向けて「サブタイトルデザイン」と「キャラクターデザイン」の募集を夏休み中に行いました。本年度の受賞者は、サブタイトルデザイン賞 佐

山実乃梨さん(小学1年生)

キャラクターデザイン賞

横田莉穂さん(小学2年生)

それぞれの受賞が決定しました。



【マスコット:ラビーちゃん】
横田莉穂さん(小学2年生)



【タイトルデザイン】佐山実乃梨さん(小学1年生)

「第32回 宮前地区青少年作品展」作品募集・開催のお知らせ

展示日:平成29年11月25日(土)・26日(日)

- 会場:宮前区役所4F大会議室
- 応募資格:宮前地区内在住または在学の小学生及び中学生
- 応募方法:次の日時に宮前区役所4階第2会議室に応募作品を持参・提出すること。

11月22日(水) 18:30～19:30

- 作品返却:11月26日(日) 18:30～19:00までに大会議室にて返却する。
- 応募作品:【絵画部門】

	対象	課題
絵画の部	小学1年以上	自由
ちぎり絵の部	小学1年以上	自由
イラスト・デザインの部	小学1年以上	自由

※応募規格:44cm×31cmの画用紙A3判(六切)
画用紙A3判が手に入らない場合、事務局(宮前区役所地域振興課)までお問い合わせください。

【書道部門】

	対象	課題
対象	小学1年～小学2年	山のぼり
	小学3年～小学4年	大きな海
	小学5年～小学6年	大きな希望
	中学生	平和を祈る

※応募規格:書き初め用紙(134cm×34.8cm)または書道半紙(市販のもの)

- 問合せ先:宮前地区青少年指導員会事務局(宮前区役所地域振興課) 電話:044-856-3135

編集後記

『あすか』25号発行に向け皆さまにご協力頂きありがとうございました。地元地域や町内会、自治会、子ども会等いつも、お力添えに感謝申し上げます。

編集委員一同、今年度も地域貢献のため異体同心の団結でこの一年取り組んで参ります。

編集委員:山本友彦、高津京子、子安栄美子、本田弦、村上日出国、蕪木英明、佐々木久雄(順不同)

高津さん今号までの編集業務ありがとうございました。北海道でのご活躍をお祈り致します。